

秋田焼山の火山活動解説資料（平成 25 年 7 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 25 年 7 月 25 日の噴火警戒レベル運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を
発表しました。秋田焼山の活動状況及び予報警戒事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1～2①）

東北地方整備局が山頂の西約 2 km に設置している焼山監視カメラによる観測では、湯沼^{ゆぬま}の噴気の高さが 20 日に一時的に 200m となりましたが、それ以外は叫沢^{さけびざわ}源頭部を含む噴気は観測されず、噴気活動は概ね低調に経過しました。

・ 地震や微動の発生状況（図 2②）

火山性地震は少ない状況で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 3）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 秋田焼山 湯沼の噴気の状況（7 月 20 日 21 時 25 分頃）

- ・ 山頂の西約 2 km に設置されている焼山監視カメラ（東北地方整備局）の映像です。
- ・ 赤丸実線で囲んだのが、湯沼の白色噴気で高さ 200m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 8 月分）は平成 25 年 9 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

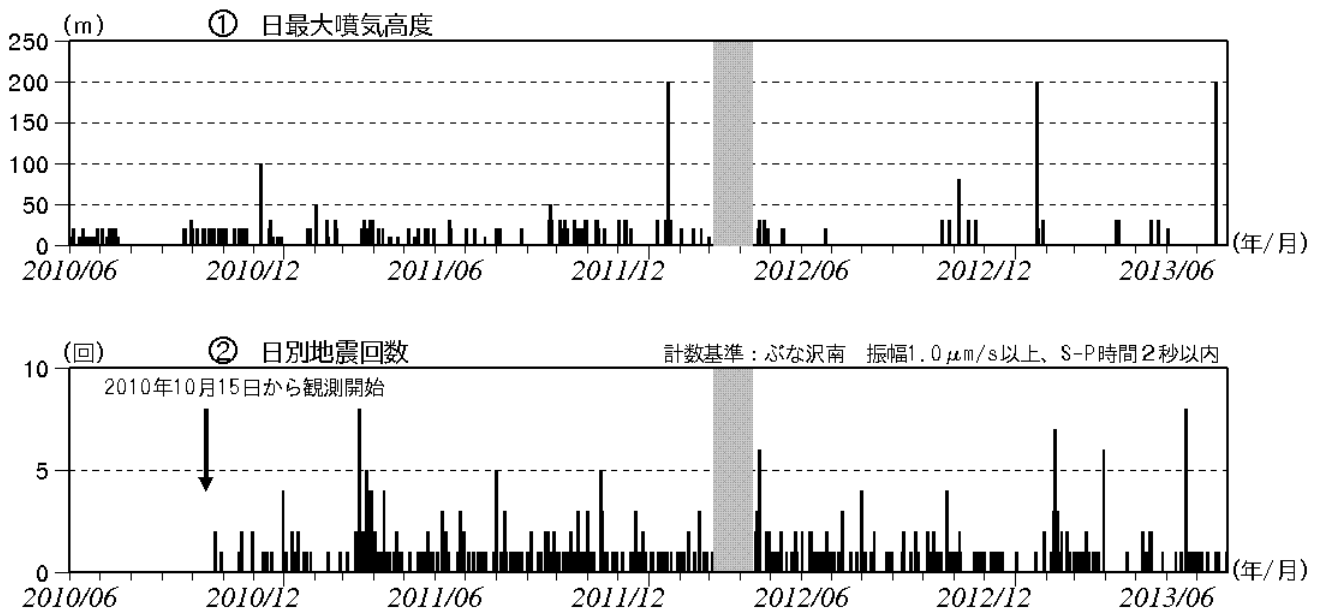


図2 秋田焼山 火山活動経過図（2010年6月～2013年7月）

- ・①2010年6月1日から焼山監視カメラ（東北地方整備局）により観測を開始しました。
- ・②2010年10月15日から観測を開始しました。
- ・2012年3月6日～4月13日（図の灰色部分）は機器障害のため欠測となっています。

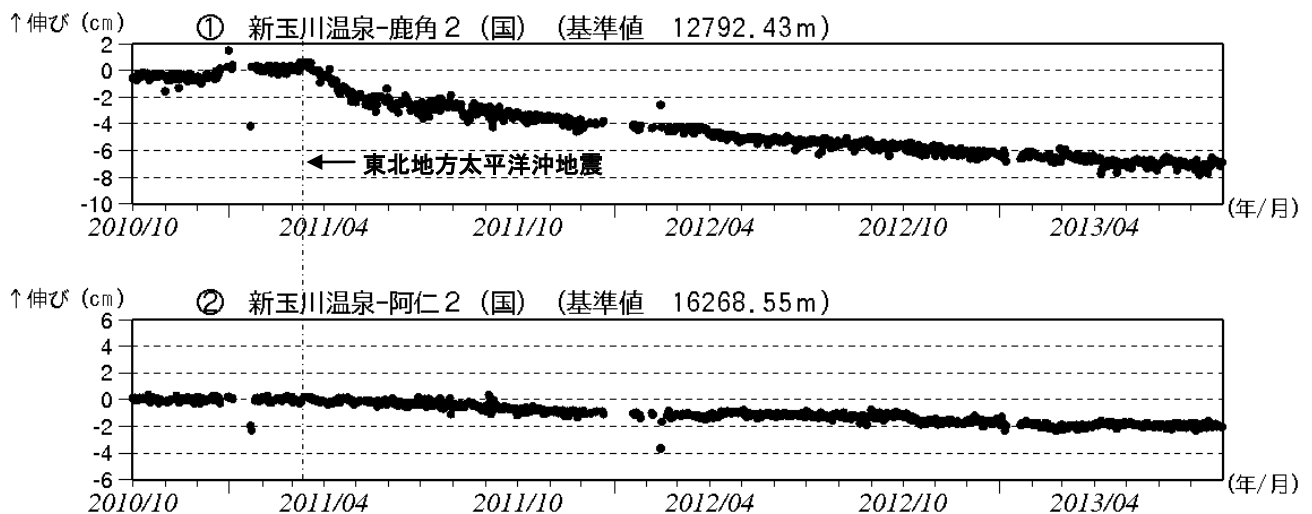


図3 秋田焼山 GPS 基線長変化図（2010年10月～2013年7月）

- ・2011年3月11日以降の縮みの傾向は、東北地方太平洋沖地震による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・東北地方太平洋沖地震に伴うステップを補正しています。
 - ・①～②は図5のGPS基線①～②に対応しています。
 - ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- （国）：国土地理院

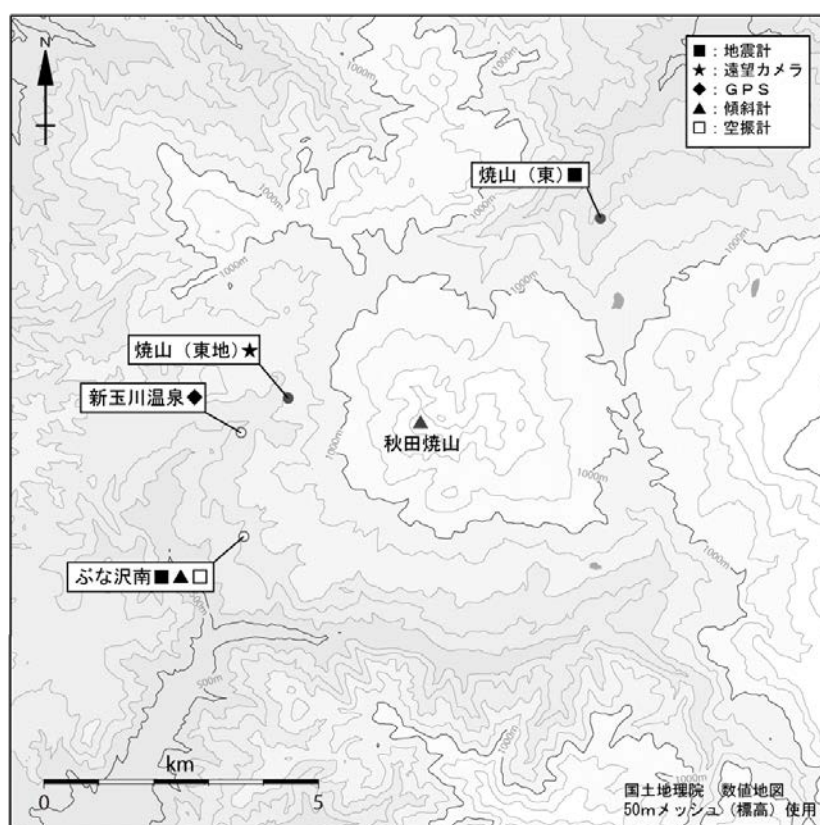


図4 秋田焼山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東地）：東北地方整備局 （東）：東北大学

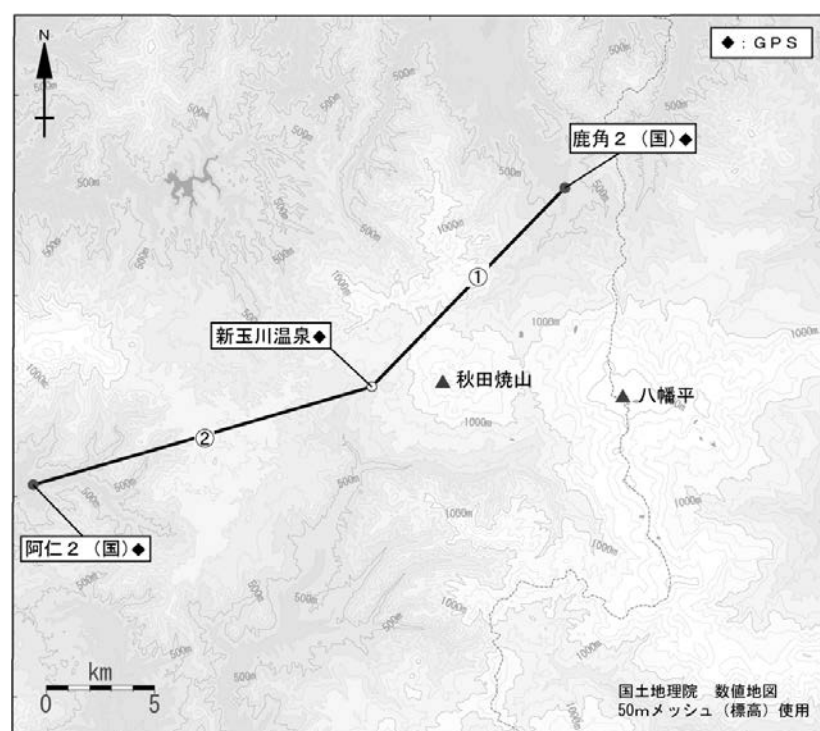


図5 秋田焼山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院